

1 . 調 査 報 告 概 要 表

〔認知症対応型共同生活介護〕

【評価実施概要】

事業所番号	2 7 7 0 1 0 4 2 5 1
法人名	社会福祉法人 エージングライフ福祉会
事業所名	グループホームクレネ堺
所在地	堺市中区福田 3 3 9 - 2 (電 話) 0 7 2 - 2 3 0 - 5 2 8 8

評価機関名	社会福祉法人 大阪府社会福祉協議会
所在地	大阪市中央区中寺 1 丁目 1 - 5 4 大阪社会福祉指導センター内
訪問調査日	平成 1 9 年 1 0 月 3 日

【情報提供票より】(平成 1 9 年 9 月 1 5 日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 14年 10月 1日		
ユニット数	2ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	9 人	常勤 10人, 非常勤 0人, 常勤換算 9.2人	

(2) 建物概要

建物構造	鉄筋コンクリート 造り
	3 階建ての 1 階部分

(3) 利用料金等 (介護保険自己負担分を除く)

家賃 (平均月額)	4 5, 0 0 0 円	その他の経費 (月額)	1 5, 0 0 0 円
敷 金	有 (円) 無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有 (円) 無	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または 1 日当たり 1, 5 0 0 円		

(4) 利用者の概要 (平成 1 9 年 9 月 1 日現在)

利用者人数	1 8 名	男性	2 名	女性	1 6 名
要介護 1	1 名	要介護 2			7 名
要介護 3	8 名	要介護 4			2 名
要介護 5	0 名	要支援 2			0 名
年齢	平均 8 4. 1 歳	最低	7 2 歳	最高	9 7 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	クレネ堺診療所・たかはたクリニック・ベルランド総合病院・堺温心会病院他
---------	-------------------------------------

作成日 平成 1 9 年 1 1 月 7 日

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

母体法人は平成 1 3 年に設立され、翌年に特別養護老人ホームと認知症対応型グループホーム「クレネ堺」を開設しています。特養との合築で 3 階建ての 1 階部分に位置していますが、玄関は独立しており 2 ユニット 1 8 人の家庭的なホームです。居室は明るく静かで各部屋にはベランダがあり、周辺には家庭菜園や植栽が広がり開放感があります。同法人診療所等との連携で医療面の対応が細やかに行なわれ、利用者・家族の安心感を得ています。地域の保育園、小学校、高等学校との交流、祭りをはじめとする自治会行事への参加、老人会との連携、ボランティアによる演奏会の実施など地域の協力を得た運営をしています。また要請に応え「小中学校生登下校時見守り運動」に参加しています。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況 (関連科目：外部 4)
	前回評価での改善課題は 5 項目ありましたが、職員間で改善のための検討を行い、この 1 年間で 4 項目について改善を行っています。改善された項目は①玄関周りの整備②利用者の過去の生活歴や経験を把握し、介護計画に反映する③職員は利用者と同じ食事を一緒に食べる④職員間の申し送りを徹底する、などです。
重点項目②	今回の自己評価に対する取り組み状況 (関連項目：外部 4)
	管理者は前回の外部評価結果を職員に説明し、理解を得ています。前回の外部評価で示された要改善項目については、職員と共に検討し改善を行っています。自己評価票の作成については職員が意見を記入し、管理者がまとめています。
重点項目③	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み (関連項目：外部 4, 5, 6)
	主な討議内容は、ホームの活動報告と意見交換です。意見には①地震や災害時の体制、危機管理はどのようになっているか、特に夜間の対応についてはどうか②夜間一人体制の勤務が心配である。③動物セラピーとして犬を飼ってはどうか④大衆演劇鑑賞は面白いのでこれからも続けるとよいのではないかと等が挙げられ、ホーム側の対応として①地震対策を考える②日中の活動性を上げるために職員の充足を図る、夜間については様子を見て検討する③犬を飼うのはしつけが難しい④わかりました、等となっています。
重点項目④	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映 (関連項目：外部 7, 8)
	毎月 1 回、利用者の生活状況や健康状態、金銭管理状況についての報告書を家族に送付しています。特に気になる問題があれば、主治医や管理者を含めた話し合いや説明の場を設けています。個別金銭出納帳には家族の了承サインがあります。同法人では苦情解決第三者委員会を設置しています。苦情、不満については職員個人で対応せず、職員間で話し合い迅速に対応しています。
重点項目⑤	日常生活における地域との連携 (関連項目：外部 3)
	地域の保育園、小学校、高等学校との交流や、お祭りなどの自治会行事への参加、大正琴演奏会などを通じた老人会との交流、ボランティアを招いた演奏会の実施など、地域の協力を得た運営をしています。また、地域貢献として「小中学校生登下校時見守り運動」に週 1 回参加しています。

2. 調 査 報 告 書

(部分は重点項目です)

外 部	自 己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期 待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続ける ことを支えていくサービスとして、事 業所独自の理念をつくりあげている	理念に「地域の中で」というような表現はあ りませんが、運営上の方針に「なじみの暮ら しの継続」を掲げています。自治会、老人会、 保育所、学校等との交流や地域ボランティア の協力を得た活動など、地域と連携した運営 が確認できます。今後はより一層地域の中 での暮らしを意識した理念の充実が望まれま す。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念 の実践に向けて日々取り組んでいる	理念や方針はホーム内に掲示して共有し、職 員会議やカンファレンスなどで具体化するよ うに努めています。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員 として、自治会、老人会、行事等、地 域活動に参加し、地元の人々と交流す ることに務めている	地域の保育園、小学校、高等学校との交流や お祭りなどの自治会行事への参加、老人会 の大正琴演奏会、ボランティア演奏会の実施 など地域の協力を得た運営をしています。また、 地域貢献として「小中学校生登下校時見守り 運動」に週 1 回参加しています。		

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	管理者は前回の外部評価結果を職員に説明し理解を得ています。外部評価の要改善項目については、職員と共に検討し改善を行っています。自己評価票の作成については職員が意見を記入し、管理者がまとめています。		
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議の規定を定めています。運営推進会議は2ヶ月に1回開催し、記録を残しています。会議で出された意見については職員会議で検討し、業務に反映するように努めています。運営推進会議を同法人事務と重ねて行った場合、行事優先になっている状況が記録で伺えます。短時間でも討議を行い、出席者の意見等を反映することが望まれます。		
6	9	○ 市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会づくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市福祉サービス公社地域包括センターとの意見交換を行っています。事故報告等は所定の様式に記入し、速やかに報告するようにしています。市の組織改変が行われましたが、今後は福祉公社との連携は勿論、管轄区の地域福祉課との連携強化が望まれます。		

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	毎月1回、生活状況、健康状態、金銭管理状況についての報告書を家族に送付しています。家族が来られたら状況を説明し、特に気になる問題があれば主治医や管理者を含めた話し合いをし、説明の場を設けています。個別金銭出納帳には家族の了承サインがあります。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族が来られたら要望や意見を傾聴しています。同法人には苦情解決第三者委員会を設置しており、苦情、不満については職員個人で対応せず、職員間で話し合い迅速に対応しています。 一部に「ホームの立場を先に言われ要望を理解してもらうのに時間がかかる」等の声があります。利用者の意見や要望を快く受け止めるよう、対応の徹底が望まれます。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	法人内職員の異動は最小限にしています。新人職員の場合は事前の説明を十分に行い、理解した上で勤務につくような配慮をしています。異動の場合は新人職員の紹介をして、利用者が馴染めるような配慮をしています。		

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	月1回の内部研修、年2回の外部研修を行っています。採用時研修をはじめ、認知症対応、応急手当、感染症対策などの研修をしています。研修記録は職員間で共有しています。外部研修記録は一部共有していないものもありましたので、まとめて保管することが望まれます。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	地域の同業者連絡会は行われていません。ホームから同業者や関連事業者との交流会や研修会開催について、働きかけは行っていません。全国レベル、大阪府下対象のネットワークには加入していません。	○	地域の同業者や関連業者等との学習・交流の場を持つような取り組みが求められます。また、全国組織、または都道府県、市内での同業者ネットワークに加入し、知識や情報を得るなどサービスの質の向上に努めることが求められます。

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入居前の見学や入居時の面接などは、本人と一緒に来られることを家族に勧めています。可能であれば入居希望者の家庭訪問を行っています。入居希望者には同法人のショートステイ利用を勧め、グループホームの雰囲気に馴染んでもらうようにしています。		

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学び支えあう関係を築いている	ことわざ、しきたり、お茶、裁縫、編み物なつかしのメロディなど利用者に教えてもらうことが多くあります。おやつを手作ることやホーム行事、お祭りなどに参加することで一緒に喜び合う関係を築いています。		

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日常的な会話やふれあいの中で利用者の意向を聴取したり、確認したりするなど希望を尊重するような努力をしています。しかし、調査時にホームの決まりごとだからという理由で、利用者が観覧中のテレビを了解も得ずに消したり、了解もなしに懐メロの曲を流したりするなど、一方的な対応を行う場面が見られました。	○	ホームの決まりごとと認識しにくい利用者の特性を考慮して、規則を優先するのではなく、行為のたびに説明をして利用者の意向を確認する、または了解を得ることが求められます。関連して認知症の接遇研修の強化が求められます。

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	アセスメントを行っており、家族の願いを反映した介護計画書を作成しています。また、介護計画書は職員間で共有し、計画に沿ったケアを行っているという記録があります。介護計画書は家族等への説明を行った上です承署名をもらっています。今後は利用者の生活歴から「生きがい」を引き出すような、心のケアを重視した介護計画書の作成を期待します。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じた見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	3ヶ月毎に見直しを行っています。見直し時期以外にも必要時には見直しを行い、利用者の状態の変化や、要望に合わせた介護計画書を作成しています。アセスメント表、モニタリング記録、カンファレンス記録を作成しています。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援（事業所及び法人関連事業の多機能性の活用）					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	利用者や家族の状況に応じて医療機関への通院支援を行っています。同法人運営診療所との医療連携支援により、専門医の診療を受けられるようにしています。家族や利用者の希望によりヘルパー（個人負担）を活用した外出支援を行っています。		

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域支援の協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られた、かかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	利用者がそれぞれの、かかりつけ医療機関で引き続き医療が受けられるように支援をしています。受診結果の報告についても家族の希望に応じて対応しています。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	利用者が重度化した場合や、退居に当たっての条件を重要事項説明書に明記し、入居時に了解を得ています。重度化した場合の対応については、早い段階から利用者や家族等の意向調整を行い、希望に添うような援助をしています。		

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	利用者一人ひとりを大切にした対応や言葉かけをしています。個人情報についての取り扱いについては重要事項説明書に明記し、従業員の雇用契約書には、職員に対し秘密保持を義務付ける文面があります。利用者の記録等の保管は厳重にしています。		

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者は自由にホーム内を移動して、新聞を見たり、職員と共に外へ出たり、掃除をしたり、活発な様子が見られました。一部、利用者全体の状況を考慮して作られたホームの決まりごとが、実際は利用者のニーズと合致していない状況も見受けられます。その都度利用者の意向確認を行なうことが望まれます。		
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	職員は昼食時、利用者と同じものを食べながら、食事介助など必要なサポートを行っています。ホームではおやつ作りや調理レクリエーションで、利用者に力を発揮してもらう機会を設けています。利用者から「今日は久しぶりに包丁を使わせてもらって食材を切りました。とっても楽しかったです」という発言がありました。このような支援がケアプランに位置づけられ、継続されることを期待します。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	3日に1回、週2回の入浴日を設定しています。入浴以外の日には入浴はできません。ホームでは毎日入浴をしていた時期や、週3回の入浴日を設定していた時など、さまざまな試みをした結果、現在の週2回に定着しています。家族から「なぜ週2回に減少したのか」という質問もありましたが、「入浴日を減らすことで、その時間を有意義に過ごせるように支援している」と説明をして了解を得ています。	○	利用者の体調不良の場合を除き、週3回の入浴支援が求められます。 入浴支援は心身の健康を保つために必要な日常生活支援です。楽しい行事や支援も大切ですが、入浴日と置き換えず、他の方法はないかを検討することが求められます。

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている。	回転寿司などの外食、大正琴の演奏、散歩、買物、絵画、お掃除、菜園づくり、歌を歌うなどの楽しみごとがあります。職員はボランティアの協力も得ながら、利用者の好みに沿った支援をしています。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	買物、周辺散歩、外食、外へ出での日光浴、美容院へ行く、家族やヘルパー同伴の外出など、さまざまな外出記録があります。一部、外出を好まれない利用者がありますが、好まない場合でも週 1 回程度の外出支援が望まれます。		

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	ホーム玄関には鍵をかけています。鍵は創設以来設定されているテンキーで、内側からは開かず、外からは自由に入れる自動扉です。身体拘束はありません。玄関前は同法人の私道が続き閑静なミニ公園のようになっています。周辺道路は車の通行も少なく、利用者が外へ出ても危険な状況は見受けられません。	○	安全性を十分確認した上で、玄関の鍵を掛けない取り組みが求められます。

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	マニュアルを作成し、年2回の消防避難訓練を行っています。そのうち1回は消防署の協力を得ています。非常用食料品と水の備蓄はグループホーム独自で行っています。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	同法人に所属する管理栄養士が作成した献立表に基づき、調理した食事を提供しています。食事摂取量は三食とも把握し、水分摂取量は一日を通して把握しています。摂取量が少ない利用者には、個別にお茶を勧めるなどの配慮をしています。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	食堂兼居間を中心にくつろぐ場所を設けています。廊下やトイレ、浴室などの共有空間が広くゆったり利用することができます。浴室は浴槽が大きく深く角があるため、逆に利用者の入浴中には、必要以上の配慮が求められる状況です。今後は一人用のバスタブ設定など将来を見越した検討が望まれます。		

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室にはベランダがあり、明るく清潔な環境が整えられています。利用者は家族の写真、絵画、机、イス、タンス、衣装ケース、テレビ、時計など馴染みの家具を置いて過ごされています。暑い時期に居室のクーラーが付けられていないという声の一部にあります。居室の室温管理は個人差があり難しさもありますが、室温が28度を越す場合には居室にエアコンを入れる配慮が望まれます。		